

2025 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーカスシステムズ
代表者名 代表取締役社長 森 啓一
(コード:4662、東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役兼執行役員 後藤 亮
(TEL. 03-5421-7777)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025 年 10 月 27 日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状分析を行ったうえで、今後の方針及び主な取組みについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては添付資料の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照ください。

以 上



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

2025年10月27日
株式会社フォーカスシステムズ
(証券コード：4662)

1	サマリー	P. 3
2	現状分析	P. 4
3	方針	P. 6
4	主な取組み	P. 7

現状分析

- ・ 当社が認識する資本コスト
 - 資本コスト（WACC）は9.9%程度
 - 株主資本コストは10.5%程度(CAPM7.5%+サイズリスクプレミアム3.0%)
- ・ ROEは市場及び業界平均・株主資本コストを上回るが、同業他社平均と比べ5%程度低い
- ・ 株主資本コストは金利上昇により過去2年で1%程度上昇し、今後も上昇の可能性
- ・ PER・売買回転率は相対的に低位で推移し、期待成長率には起伏がある

方針

事業の成長ステージとリスク許容度を踏まえた最適資本構成を追求し、成長投資、財務健全性、株主還元のベストバランスを実現する
そして、投資の成果と連動した株主還元方針を明確化することで、市場からの期待成長率を高め、資本市場からの信頼を盤石なものとする

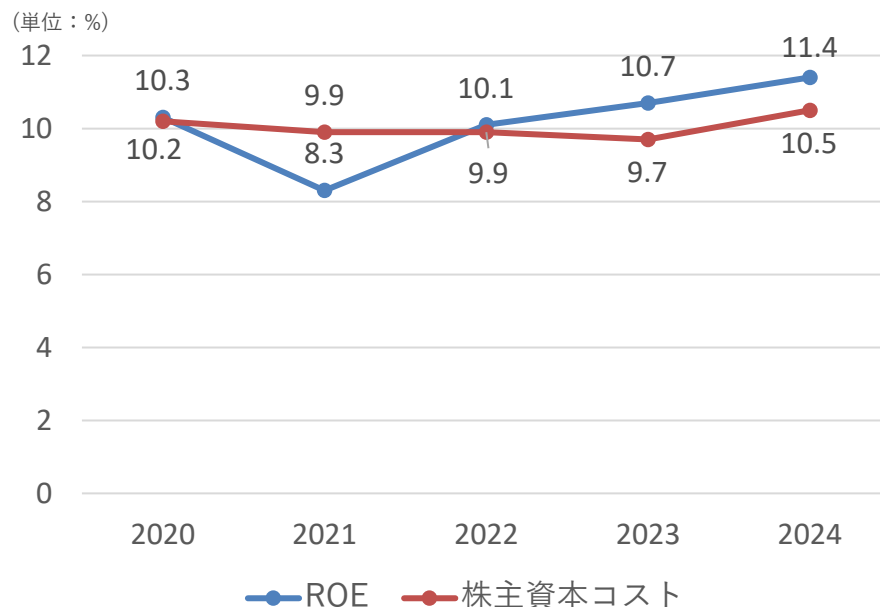
主な取組み

- ・ 継続的なROEの向上
 - 個別プロジェクトの選択と集中
 - 生産性の高い分野・新技術へ投資
 - M&A等の投資機会を活用
 - 最適資本構成を意識し定期的に資本構成を見直し借入金を成長投資へ活用
 - 政策保有株式の縮減、成長投資・株主還元へ活用
- ・ 戦略的なIR活動による情報の非対称性の是正、認知度の向上
 - 開示情報の充実、対話機会の創出
 - 株主還元の強化
 - エクイティストーリーの再設計と浸透
 - 成長性の適正評価を促す需給活性化策の創出

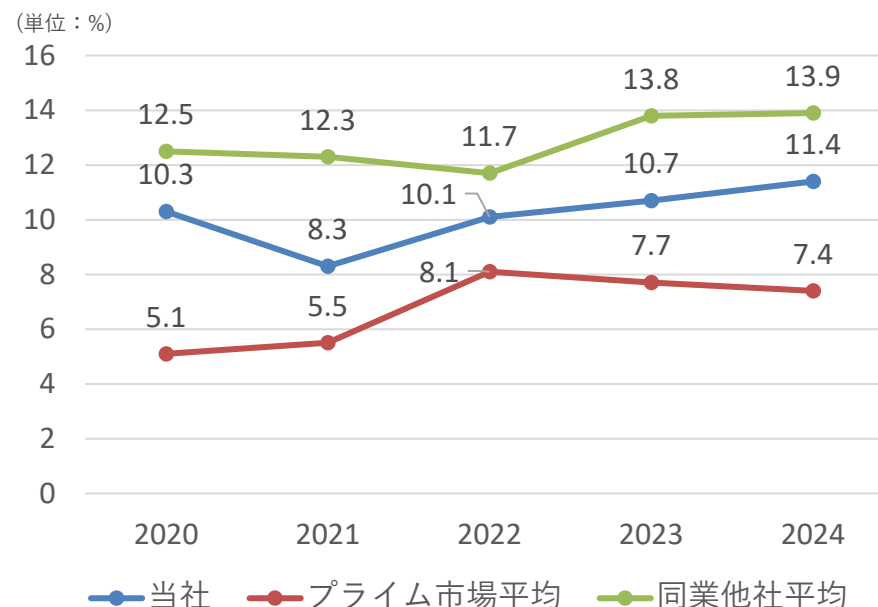
資本コスト（WACC）は9.9%程度、株主資本コストは10.5%程度（CAPM7.5%+サイズリスクプレミアム3.0%）と認識
ROEは株主資本コスト及び市場平均を上回って推移しているが、同業他社比較では低位で推移

金利上昇により株主資本コストが上昇傾向のため、エクイティスプレッドの拡大に向け継続的なROEの向上が必要

ROEと株主資本コスト



ROE比較



株主資本コストの推計

$$\begin{array}{c} \text{株主資本コスト} \\ k \end{array} = \begin{array}{c} \text{リスクフリーレート} \\ \text{RFR} \end{array} + \begin{array}{c} \text{エクイティリスクプレミアム} \\ \text{ERP} \end{array} \times \begin{array}{c} \beta \text{ 値} \\ \beta \end{array} + \begin{array}{c} \text{サイズリスクプレミアム} \\ \text{SRP} \end{array}$$

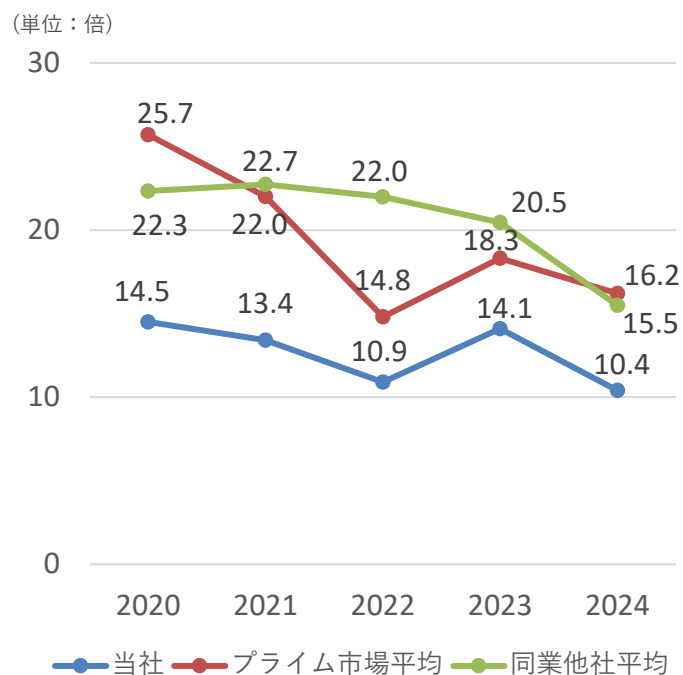
株主資本コスト	リスクフリーレート	エクイティリスクプレミアム	β 値	サイズリスクプレミアム
9.5%～11.6%	1.5%	5.1%～6.6%	0.99～1.08	3.0%程度

※サイズリスクプレミアムには、流動性リスクも含んでおります。

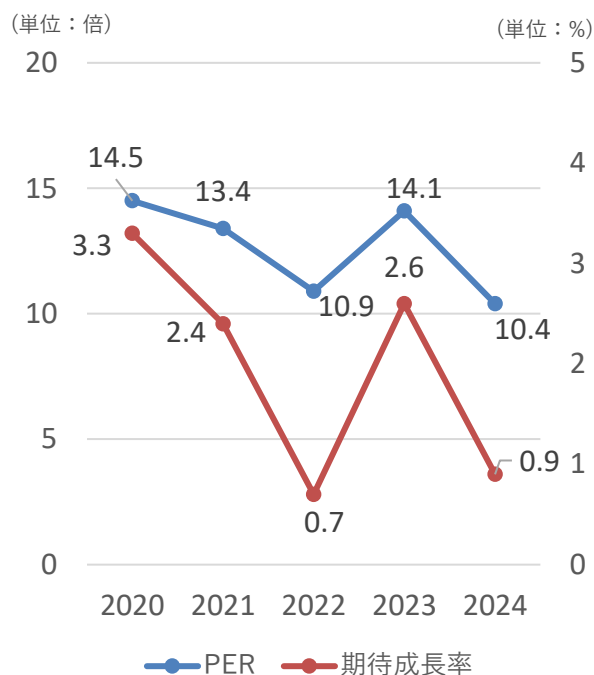
業績が連続成長している一方、PER・売買回転率は相対的に低位で推移し、期待成長率に起伏がある

本来の企業価値と市場評価との間にギャップがあるため、情報の非対称性の是正や投資家に認知される施策が必要

PER比較

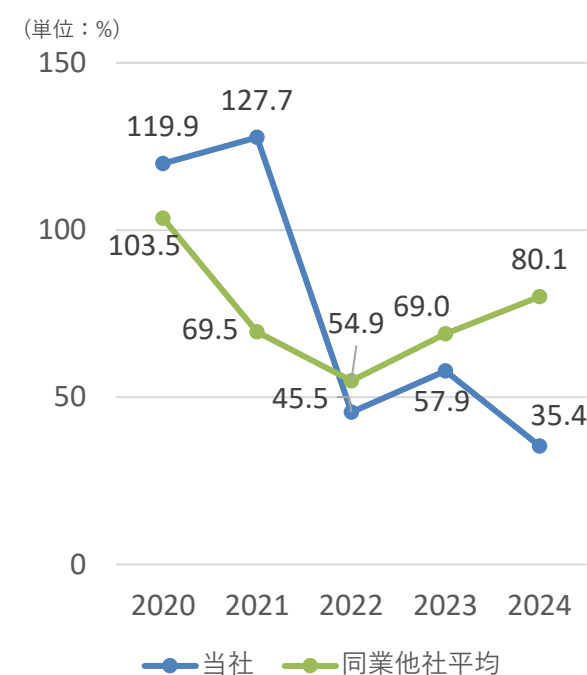


PERと期待成長率



【期待成長率】
 $PER = 1 / (\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率})$

売買回転率



【売買回転率】
 $\text{売買株数} \div \text{上場株式数} \times 100$

事業の成長ステージとリスク許容度を踏まえた最適資本構成を追求し、成長投資、財務健全性、株主還元のベストバランスを実現する。
そして、投資の成果と連動した株主還元方針を明確化することで、市場からの期待成長率を高め、資本市場からの信頼を盤石なものとする。

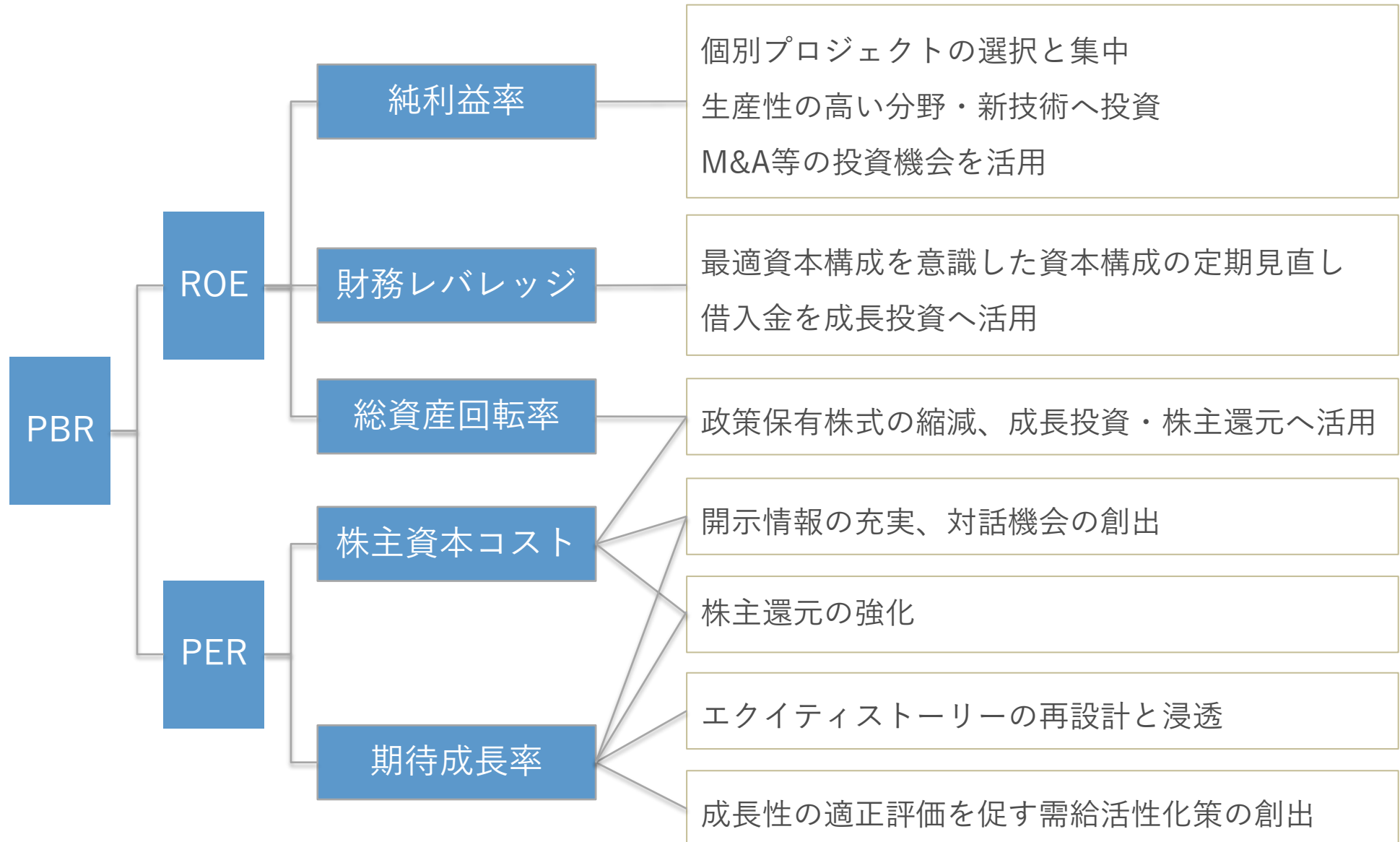


< 重点項目 >

継続的なROEの向上

戦略的なIR活動による
情報の非対称性の是正

認知度の向上



今後とも、ご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



テクノロジーに、ハートを込めて。

本資料において、値は小数点以下切捨、割合は小数点第二位で四捨五入としております。

本資料に記載されている業績予想及び将来に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、不確実な要素を含んでおります。従って、経済・事業環境等の変化等、様々な要因により変動することがありますので、確実性を保証するものではありません。また、将来に関する記載の更新や修正を公表する義務を一切負うものではありません。